

【全日程】

- 10 : 00～10 : 05 集合（中会議室）・日程説明
- 10 : 05～11 : 00 会議
- 11 : 10～12 : 00 移動・視察（埋蔵文化財センター展示室）

【1 会議】

(1) 教育長挨拶

(2) 会議録署名委員の指名について

- ・選出方法について
- ・会議録署名
→ 会議録作成後に内容を確認いただき、署名・押印をお願いします。

(3) 議事

報告第1号 令和2年度滝沢市文化財事業及び進捗状況について

報告第2号 令和3年度滝沢市文化財行政事業計画について

報告第3号 令和3年度カワシンジュガイ調査報告書について

報告第1号 令和2年度滝沢市文化財事業及び進捗状況について

令和2年度滝沢市文化財事業の進捗状況について（3月12日現在）

(1) 文化財関係

事業・活動名	実施状況	実施内容
文化財調査委員会議	会議・調査 1回目 7月17日（金） 2回目 3月29日（月）	視察・会議 会議・視察
滝沢市の歩み講座 （郷土史活用事業）	1回目 9月5日（土） 2回目 2月27日（土）	滝沢市の歩みをテキストに 講座を開設 2回目はオンライン講座
指定文化財見学会 （郷土史活用事業）	新型コロナウイルス感染症のため開催見送り	
文化財パネル展示	2月20日（土）～21日（日） 滝沢市伝統芸能フェスティバル 内にて展示	
出前講座事業		
文化財掘り起し事業 （文化財指定関連）	・カワシンジュガイ生息調査 3ヶ年の生息分布調査の成果報 告書作成準備	県立博物館専門学芸調査員 渡辺修二氏に依頼
文化財等保護整備	1回目 4月15日（水） 2回目 4月20日（月） 3回目 5月26日（水） 4回目 6月17日（水） 5回目 7月16日（木） 6回目 7月20日（月） 7回目 7月29日（水） 8回目 8月11日（火） 9回目 8月26日（水） 10回目 8月31日（月） 11回目 9月5日（土） 12回目 9月18日（金） 13回目 10月21日（水） 14回目 10月27日（火） 15回目 11月30日（月）	市内文化財巡視 市内文化財巡視（地震） 餓死供養塔草刈 市内文化財巡視 餓死供養塔草刈 市内文化財巡視 市内文化財巡視（台風） 餓死供養塔草刈 市内文化財巡視 市内文化財巡視（台風） 餓死供養塔草刈 市内文化財巡視 市内文化財巡視 餓死供養塔草刈 市内文化財巡視

事業・活動名	実施状況	実施内容
文化財等保護整備	16回目 12月21日(月) 17回目 1月12日(月) 18回目 2月15日(月)	市内文化財巡視 市内文化財巡視 市内文化財巡視(地震)
	・チョウセンアカシジミ生息調査 1回目 4月16日(木) 2回目 7月7日(火)	デワノトネリコの枝に卵を確認 成虫20匹以上確認
	・五龍のフジに関する情報交換 1回目 7月26日(日) 角掛神社	五龍のフジ管理作業
民俗芸能保存・伝承 (無形民俗文化財)	・郷土芸能保存団体代表者会議 1回目 5月21日(木) 埋蔵文化財センター 2回目 8月中(中止) 3回目 10月14日(水) 埋蔵文化財センター 4回目 12月8日(火) 滝沢市役所	代表者会議・まつり打合せ 代表者会議・まつり打合せ 代表者会議・まつり打合せ (まつり中止決定)
	・郷土芸能保存団体支援活動 ・郷土芸能出演依頼の調整	年間を通して調整
	・民俗芸能功労者表彰推薦 (市郷土芸能団体協議会から)	岩手県民俗芸能団体協議会表彰 ⇒本年度は推薦無し
	その他	有形民俗資料民具類保存整理および民具保管庫の見学受付

(2) 埋蔵文化財関係

・埋蔵文化財調査

事業・活動名	実施状況	実施内容
埋蔵文化財有無確認調査 (GIS 他)	埋蔵文化財包蔵地の確認 GIS 289件 Eメール 6件 FAX 96件 合計 391件	Eメール、FAXにて回答 (3月12日現在)
	事前申出書による指導 公共 3件 民間 1件 合計 4件	文書による回答 (3月12日現在)
埋蔵文化財試掘調査	埋蔵文化財の試掘調査 民間(93条) 15件 公共(94条) 0件 合計 15件	高柳遺跡、風林A遺跡、一本木館遺跡、葉の木沢山I~III遺跡は遺構・遺物の出土は無し。 (3月12日現在)
埋蔵文化財発掘調査	発掘調査	年間(現在、予定無し)
埋蔵文化財調査報告書作成事業	調査報告書作成	年間(予定無し)

・調査・研究

事業・活動名	実施状況	実施内容
収蔵資料の再調査	将来の展示替えに備えて再調査(国庫補助金・地域の特色ある埋蔵文化財活用事業)令和2年4月1日~令和3年3月31日	・縄文前期から縄文中期の遺物について台帳整備 ・過去の調査写真(カラスライド)のデジタル化

・教育普及活用

事業・活動名	実施状況	実施内容
埋蔵文化財収蔵資料展示公開	発掘調査の成果の展示公開 4月21日(火)~5月8日(金)まで休館。5月9日(土)から開館。 ・8月29日(金) 滝沢小学校3年生社会科見学	・生徒129名、引率9名

事業・活動名	実施状況	実施内容
歴史体験事業	<p>土器・埴輪の製作体験 火起こし体験・勾玉の製作体験</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため6月30日まで体験講座を中止した。7月1日(水)から体験講座開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月25日(土) 石ヶ森子ども会3班はにわ作り ・7月26日(日) 石ヶ森子ども会1班勾玉作り ・2月26日(金) みやま会はにわ作り 	<p>随時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13名参加 ・19名参加 ・21名参加
	<p>出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月15日(水) 大釜いきいきサロン石のお守り作り ・7月29日(水) 盛岡北高等学校2学年(夏季講習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・7名参加 ・北高周辺の歴史等について講義 61名参加
	<p>講座他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月21日(土) 岩手大学公開講座「安倍・清原氏から奥州藤原氏へ」ふるさと交流館ホール 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加申込181名 新型コロナウイルス感染症のため中止
埋蔵文化財講座・企画展示	<ul style="list-style-type: none"> ・12月13日(日) 講演会「土器と墓制から見た北東北の続縄文文化」ビッグルーフ滝沢大ホール 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加申込105名 新型コロナウイルス感染症のため中止 後日講座資料を送付
	<p>企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月12日(土)～3月31日(水) 「滝沢市における続縄文文化の土器と墓制」展示室 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月12日(金) 現在256名見学(内大人65名)

・職員研修

事業・活動名	実施状況	実施内容
埋蔵文化財発掘技術者講習会	発掘調査技術の技能・資質の向上	年間
発掘調査現地説明会	発掘調査された遺構・遺物について知見	年間

・連絡協調

事業・活動名	実施状況	実施内容
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	埋蔵文化財センター管理運営の連絡調整、連携強化 北海道・東北ブロック会議 新型コロナウイルス感染症のため中止	北海道・東北ブロック会議
岩手県史跡整備市町村協議会	史跡の整備活用の連携強化 ・総会 新型コロナウイルス感染症のため中止	総会・研修会

・施設の管理運営

事業・活動名	実施状況	実施内容
施設運営と史跡公園の保存管理	埋蔵文化財センターや史跡公園湯舟沢環状列石保存管理 ・5月25日(月)～26日(火) ・6月22日(月)～23日(火) ・7月30日(木)～31日(金) ・9月10日(木)～11日(金)	年間 ・草刈(第1回) ・草刈(第2回) ・草刈(第3回) ・草刈(第4回)

報告第2号 令和3年度滝沢市文化財行政事業計画について

参照 令和3年度社会教育行政の方針と計画

基本施策2 文化芸術の振興

文化芸術の振興において重要なパートナーである滝沢市芸術文化協会や滝沢市郷土芸能保存団体協議会などと連携・協働し、伝統文化・芸術の次世代継承を図ります。

また、「滝沢市の歩み」を活用した郷土理解推進事業の展開や文化芸術を通じた産業創造を目指します。さらに、豊かな自然と長い伝統の中で培われ育まれてきた埋蔵文化財の適切な保存と活用を図り、郷土理解の推進と文化財保護意識の啓発を図ります。

施策2-1 伝統文化・芸術の次世代継承

(1) 芸術祭の開催

市民の文化芸術活動の成果を発表する機会であり、広く市民に芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化芸術の振興を図ります。教育委員会と芸術文化協会の主催で、それぞれの部門を開催します。

(2) 郷土芸能まつりの開催

県・市指定無形民俗文化財をはじめとする郷土芸能など日本の伝統文化全般にわたる保護と伝承、後継者の育成を目指し、発表の場や後継者の指導をすることにより、郷土芸能の保護育成を図ります。

(3) 郷土理解推進事業の展開

「滝沢市の歩み」を活用した郷土理解推進事業を通じた貴重な郷土の歴史を未来へと継承ができる「人・つながり・地域づくり」を促進します。

(4) 文化財・天然記念物保護事業の展開

滝沢市文化財調査委員会議を年3回行い、文化財保護や活用に関し、教育委員会の諮問に答え、意見具申し、必要な研究調査を行います。郷土の文化財を学ぶ機会を通じた保護意識の啓発を図ります。また、民具類（民俗文化資料）が郷土学習資料としても幅広く活用できるよう解説表示を行い、保存管理と活用に努めます。

【施策を構成する主な事業】

芸術祭開催事業、伝統文化支援事業、郷土理解推進事業、文化財・天然記念物保護事業

ア 文化財調査・整備・普及

(1) 郷土芸能まつりの開催

事業名	目的・内容	時期	場所
第16回滝沢市郷土芸能まつりの開催(市郷土芸能保存団体協議会と共催)	県・市指定無形民俗文化財をはじめとする郷土芸能など日本の伝統文化全般にわたる保護と伝承、後継者の育成を目指し、発表の場や後継者の指導をすることにより、郷土芸能の保護育成を図ります。	令和4年 1月30日 (日)	ビッググループ滝沢

(2) 郷土理解推進事業の展開

事業名	目的・内容	時期	場所
郷土理解推進事業	「滝沢市の歩み」を活用した郷土理解推進事業を通じた貴重な郷土の歴史を未来へと継承ができる地域づくりを支援します。 ・「滝沢市の歩み」を教材とした郷土史講座を開催します。	年間	市内

(3) 文化財・天然記念物保護事業の展開

事業名	目的・内容	時期	場所
文化財調査委員会会議	滝沢市文化財調査委員会議を年3回行い、文化財保護や活用に関し、教育委員会の諮問に答え、意見具申し、必要な研究調査を行います。	年3回	市内
「滝沢市の文化財」パネル展示事業	市の指定文化財などを広く市民に展示紹介し、文化財の周知を図ります。 ・ビッググループ滝沢(芸術祭展示部門併設) ・埋蔵文化財センターなど	年間	市内
「滝沢市の文化財」パネル貸出し事業	市の指定文化財などを広く市民に展示紹介し、文化財の周知を図ります。	年間	市内
出前講座事業「滝沢市の文化財紹介」	ふれあいまちづくり出前講座「市の文化財を知ろう」で文化財啓発を図ります。	年間	市内
文化財掘り起し調査事業	文化財の掘り起しを行い、基礎調査を行います。 ・指定文化財候補(カワシンジュガイ)の河川現地調査報告書の作成	年間	市内
指定文化財保護整備	指定文化財周辺の草刈や説明板の修繕等、周辺環境整備を実施します。	年間	市内

参照 令和3年度社会教育行政の方針と計画

施策2-2 埋蔵文化財の保存と活用

(1) 開発事業計画と埋蔵文化財保護との調整

開発事業計画と埋蔵文化財保護との調整を図るため、有無確認調査、遺跡の内容を確認する試掘調査を実施します。

(2) 発掘調査業務の実施

開発工事の実施に伴う遺跡の緊急発掘調査を実施し、その結果に基づく調査報告書を作成し記録保存を図ります。

(3) 調査・研究活動の推進

収蔵資料の調査・研究により郷土滝沢の黎明期の解明を推進します。

(4) 収蔵資料の管理

発掘調査により出土した遺物や図面、写真等の諸記録を適切に収納し、収蔵資料の適切な保全と管理を実施します。

(5) 教育普及活動

埋蔵文化財の調査研究成果を展示公開し、各種の歴史体験講座や考古学関係講座、出前講座などの教育普及事業を実施し、埋蔵文化財に対する啓発啓蒙活動を推進し埋蔵文化財の活用を図ります。

(6) 埋蔵文化財関係職員の技術、資質の向上

県内外で開催される発掘技術向上の講習会や各地での発掘調査報告会、現地説明会などへの参加により発掘調査担当職員の発掘技術と資質の向上を図ります。

(7) 史跡公園湯舟沢環状列石の保存管理

史跡公園湯舟沢環状列石と埋蔵文化財センターの適切な保存管理を実施します。

【施策を構成する主な事業】

埋蔵文化財センター管理運営事業、埋蔵文化財センター教育普及事業、埋蔵文化財調査事業

イ 埋蔵文化財センター

(1) 埋蔵文化財調査

事業名	目的・内容	時期	場所
埋蔵文化財有無確認調査	開発事業等に係る埋蔵文化財有無確認調査	年間	市内
埋蔵文化財試掘調査	埋蔵文化財発掘調査実施に係る事前確認調査	年間	
埋蔵文化財発掘調査	開発事業等に係る埋蔵文化財緊急発掘調査	年間	
埋蔵文化財調査報告書作成事業	発掘調査結果に基づく遺跡の記録保存事務事業	年間	

(2) 調査・研究

事業名	目的・内容	時期	場所
収蔵資料の再調査	将来の展示替えに備えて再調査を実施する	年間	市内

(3) 教育普及活用

事業名	目的・内容	時期	場所
埋蔵文化財収蔵資料展示公開	発掘調査の成果の展示公開	年間	埋文センター
歴史体験事業 土器・埴輪・勾玉・火起こし	土器・埴輪の製作体験 火起こし体験 勾玉の製作体験	随時	埋文センター
埋蔵文化財講座・企画展示	最新の考古学研究成果を中心とした講座	年間（1回） 令和2年講演会 同じ内容・講師で開催予定	埋文センター 他

(4) 職員研修

事業名	目的・内容	時期	場所
埋蔵文化財発掘技術者講習会	発掘調査技術の技能・資質の向上	年間	市内
発掘調査現地説明会	発掘調査された遺構・遺物について知見	年間	市内

報告第3号 令和3年度カワシンジュガイ調査報告書について

令和3年度カワシンジュガイ調査報告書刊行スケジュール（案）

4月～6月

河川分布図の作成他

7月～9月

河川別写真のレイアウト

10月

全体レイアウトの作成

11月

印刷製本見積入札（印刷業者選定）

12月

完全原稿提出

1～2月

校正（3校・最終校）

3月

刊行（A4版・40頁・300部）



カワシンジュガイ生息状況 逢沢（平成29年10月4日調査）

滝沢市カワシンジュガイ調査報告書構成（案）

1. 序論

カワシンジュガイの生態、他県や県内他地域での生息状況等

2. 調査方法

調査期間、方法の概要、調査担当者名

3. 調査河川一覧

調査河川名の一覧及び地図で位置の図示

4. 結果

（各河川について、調査地点、川の様子、生息の様子などの解説、関連写真を掲載）

※逢沢や苧桶沢、木賊川など生息個体数の多い川は数ページ、少ない川は1～2ページ、まったく生息しない川は0.5～1ページ。合計で25～30ページ程度の見込み
掲載予定河川（順不同）

逢沢

巡り沢

越前堰

苧桶沢

仁沢瀬川

諸葛川

市兵衛川

木賊川

砂込川

金沢

名称不明（新鬼越池から南東に下る沢）

ガンド沢

大沢

グンダリ沢

5. 考察

生息状況の評価

保全への提言

6. 引用文献

結果の記述例

諸葛川

調査日 2018年10月24日、11月23日

(地図)

10月24日に市兵衛川合流部（滝沢市穴口・室小路）から雫石川との合流部までの区間を調査した。カワシンジュガイが確認できた場所と個数は、越前堰との合流部（滝沢市鶴飼石留）で3個、そこから約800m下流（盛岡市上厨川）に1個であった。

この区間の河床は砂礫の堆積が少ないところが多く、全般的にやや流速が早いこともあり、カワシンジュガイが定着しにくい環境であった。橋の下等に砂礫が堆積している部分があったが、そのような場所でも確認できなかった。

11月23日には、滝沢市湯船沢付近及び牧野林付近を調査したが、発見できなかった。湯船沢付近には、川が蛇行し、流速が緩やかで河床に砂礫が多く堆積している場所があり、カワシンジュガイの生息に適する環境であるように思われたが、それらの場所でも生息は確認できなかった。その他の場所は、流速が早く、河床に砂礫が堆積していないか、大型の石が多いため、カワシンジュガイの生息に適さない環境であった。

越前堰より上流部では全く貝が確認できなかったことから、10月24日に確認された貝は越前堰から流下した個体であると考えられる。越前堰合流部の貝は河床に立った状態だったが、その下流部で見つかった貝は河床に横たわっており、流下途中の個体であると思われる。

岩手県立博物館には1981年5月27日及び6月9日に採集した貝殻標本が収蔵されている。貝殻の状態から、この標本は生貝を採集したものではなく、貝殻を採集したものであると推測される。5月27日採集の標本ラベルによれば、採集地は滝沢村諸葛川穴口とされており、諸葛川本流に生息していた貝ではなく、市兵衛川から流下した貝殻の可能性はある。

調査中、カワシンジュガイの貝殻を発見できなかったことから、諸葛川本流にはカワシンジュガイの生息地はなく、支流から流下した個体が局所的に生息しているだけであると考えられる。

参考 滝沢市指定文化財新規候補案件一覧表

No.	受付年月日	提出者区分	提出者	分類	名称	調査	予定
No. 01	H26.7.30	委員	土井宣夫	10 記念物（天然記念物）	雫石川の遷移点と飯岡層中の硫化物鉱脈		
No. 02	H26.7.30	委員	土井宣夫	10 記念物（天然記念物）	活断層の撓曲崖		
No. 03	H26.7.30	委員	土井宣夫	10 記念物（天然記念物）	焼走り溶岩第1火口および第2火口		
No. 04	H26.7.30	委員	土井宣夫	10 記念物（天然記念物）	岩手山頂薬師火口内の妙高岳と御室火口		
No. 05	H26.7.30	委員	土井宣夫	10 記念物（天然記念物）	岩屑なだれ堆積物がつくる断崖		
No. 06	H27.1.10	委員	片山千賀志	10 記念物（天然記念物）	ゴマシジミ		
No. 07	H28.2.25	委員	片山千賀志	10 記念物（天然記念物）	カワシンジュガイ	H29年～R1年（3ヶ年）河川生息分布調査実施	R2 調査報告書作成依頼（渡辺修二氏） R3 報告書刊行
No. 08	H29.7.28	市民	齊藤健二	07 民俗文化財（無形）	大沢さんさ踊り		
No. 09	H30.5.28	市民	西村洋子	07 民俗文化財（無形）	滝沢市さんさ踊り		

【2 視察】 埋蔵文化財センター展示室

滝沢市埋蔵文化財センター開館 20 周年記念



土器と墓制
から見た
北東北の
続縄文文化

企画展示

滝沢市における続縄文文化の土器と墓制

令和2年12月12日(土)
～令和3年3月31日(水)

展示内容

仏沢Ⅲ遺跡・大石渡遺跡など
市内遺跡出土の続縄文土器と
遺跡解説パネルを展示

会場

滝沢市埋蔵文化財センター展示室

仏沢Ⅲ遺跡出土後北C2-D式土器(4世紀)